

KFA 第32回九州クラブチームサッカー選手権大会

県予選 大会要項

1. 名称 KFA 第32回九州クラブチームサッカー選手権大会 県予選
2. 主催 一般社団法人鹿児島県サッカー協会
3. 主管 一般社団法人鹿児島県サッカー協会 一種社会人委員会
鹿児島県社会人サッカー連盟
4. 協力 株式会社モルテン
5. 期日及び会場 2025年4月20日(日)楠志田サッカー競技場(南さつま市人工芝サッカー場)
5月11日(日)鹿児島県立サッカー・ラグビー場
5月18日(日)楠志田多目的広場(国分運動公園多目的広場)
5月25日(日)楠志田サッカー競技場(南さつま市人工芝サッカー場)
6月 7日(土)鹿児島県立サッカー・ラグビー場

6. 参加資格

2025年度に公益財団法人日本サッカー協会及び一般財団法人全国社会人サッカー連盟に登録された第1種(準加盟を含む)のクラブチームであって、次の条件に従う。

- (1) 2025年度加盟登録手続きを完了し、会費納入済みであること。
- (2) 参加チームは、Jリーグ・JFL・地域リーグ加盟チーム、自衛隊・自治体職員・大学・高専・専門学校の連盟加盟チームは出場出来ない。
- (3) 参加チームは、大学・高等専門学校・専門学校生の単独チームは認めない。但し、同一学校の選手が5名以内であれば認められる。
- (4) 参加選手は、他のチームと二重登録されていないこと。
- (5) 外国籍選手の登録は1チームにつき3名以内とする。但し、「JFAのプロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」の条件に該当する場合は、この3名を超えて登録できるものとするが、何れの場合も、外国籍選手の登録人数の総数は、5名を超えてはならない。(準加盟チームを除く)※同一試合には、3名が同時に出場することができる。
- (6) 第2種年代に該当する者の登録は1チームにつき3名以内とし、3名が同時に出場することができる。
- (7) 公益財団法人日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、適用対象となる年齢は第2種年代のみとし、人数は上記(6)と同様とする。
- (8) 本大会に出場できる選手は、**2025年4月4日(金)**までに、公益財団法人日本サッカー協会が登録を承認した選手とする。
- (9) 参加資格に疑義があった場合は、鹿児島県社会人サッカー連盟規律フェアプレー委員会がこれを裁定する。
- (10) 本大会から全国大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同大会に参加することは出来ない。
- (11) 優勝したチームは、2025年7月25日～27日に熊本県八代市で行われるKYFA第32回九州クラブチームサッカー選手権大会に出場する義務を負う。

7. 大会形式

トーナメント方式により代表チームを決定する。

8. 競技規則

大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会サッカー競技規則（2024/2025）を適用する。

9. 競技規定

（1）競技者の数

- ① 競技者の数：11名
- ② 交代要員の数：7名以内
- ③ 交代できる数：7名以内（交代回数はハーフタイムを除き、3回までとする）
- ④ 脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
 - ア. 脳震盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳震盪交代」という）は、通常交代に含まれない。脳震盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
 - イ. 脳震盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳震盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - ウ. 脳震盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる（以下、本号に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
 - エ. 1試合における各チームの脳震盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする役員の数チームベンチに入ることが出来る役員数は6名以内とする。

（2）テクニカルエリア

設置する

（3）試合時間

- ① 準決勝及び決勝は70分とし、その他は60分とする。
- ② ハーフタイムのインターバルは、原則10分（前半終了から後半開始まで）
- ③ 試合時間で勝敗が決しない場合は、延長戦を行わずPK戦により勝敗を決する。
- ④ PK戦のインターバルは1分以内とする。

（4）ユニフォーム

- ① 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程による。
- ② ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は、正・副それぞれの色彩が異なり判別しやすい色彩をエントリー表に登録し、正・副のF P・G K用を試合毎に必ず持参する。（同系色不可）シャツ（F P/G K共）の色彩は審判が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ③ チームは、エントリー表に登録されたユニフォームを着用するとともに、選手固有の番号を背面、前面につけること。
- ④ ユニフォームに他のチーム（各国代表・プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- ⑤ ユニフォームへの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。なお、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。

- ⑥ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した場合は、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定することができる。また、主審は、登録された2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい色彩の組み合わせを決定することができる。
 - ⑦ ソックスの上にテープ等を巻く場合、あるいはサポーター等を着用する場合、その色はソックスと同色または同系色とし、同一チームの競技者は同色で統一すること。
 - ⑧ アンダーシャツは、シャツの各袖の主たる色と同色または同系色とし、同一チームの競技者は原則同色を着用する。
 - ⑨ アンダーショーツまたはタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同色または同系色とし、同一チームの競技者は原則同色を着用する。
 - ⑩ ユニフォームの一部が揃わない選手は本大会に出場できない。
 - ⑪ ユニフォームの色彩、選手番号は、参加申込締切日以後の変更は認めない。
- (5) 装身具の着用は一切禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- (6) 選手証
- 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会発行の電子登録証(写真が登録されたもの)または登録選手一覧表(写真が登録されたもの)のカラー印刷したものを必ず持参し、大会本部で試合毎に確認を受けること。
- (7) その他
- ① 負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名までの入場が許可される。
 - ② チームベンチ：会場本部席からフィールドに向かって
 - 左側・・・対戦表に対戦相手より左に記載されているチーム
 - 右側・・・対戦表に対戦相手より右に記載されているチーム
 - ③ チームが、メンバー表提出、マッチコーディネーションミーティング、試合開始のそれぞれ指定された時間に遅れた場合は、いかなる理由があろうとも棄権扱いとする。

10. 懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手またはチーム役員は、次の1試合に出場またはベンチ入りできず、それ以後の処置については、鹿児島県社会人サッカー連盟規律フェアプレー委員会で裁定する。また、大会期間中、累積警告が2回になった選手・役員は、本大会中、次の1試合の出場またはベンチ入りを停止する。
- (2) 退場を命じられた者は、試合が終了するまで制限される区域には立ち入りできない。
- (3) 本大会内で出場停止処分が消化しきれない場合(本大会の終了、本大会からの敗退等の場合)、その出場停止処分は、優勝チームの選手は本大会の上位大会に、その他のチームの選手は直近の公式試合に適用される。

11. 募集チーム数 24チーム

12. 参加申込

- (1) 選手の参加申込人数は35名以下とし、監督が選手として出場する場合はこれを含まなければならない。
- (2) 申込方法：公益財団法人日本サッカー協会 WEB 登録システム (KICK OFF) にて必要事項を入力の上、参加申込み手続きを行うこととする。
- (3) WEB 登録期間：2025年4月7日(月)～11日(金)18:00まで

- (4) 大会参加料：20,000円 代表者会議にて納入すること。なお、納入された参加料は理由の如何にかかわらず返還しない。
- (5) 申込完了後の変更及び棄権は原則認めない。
- (6) 参加申込が24チームを超える場合は、2025年4月6日に抽選を行い、本大会出場チームを決定する。

13. 組合せ

代表者会議にて決定する。

14. 代表者会議

日時：2025年4月13日（日）18:00～

場所：谷山北公民館 2F会議室

15. 表彰

- (1) 優勝及び準優勝チームには、賞状を授与する。
- (2) 表彰式は決勝戦終了後に行う

16. 経費

本大会の参加に要する経費は、全額参加者の負担とする。

17. その他

- (1) 準決勝以上の試合の副審は大会本部で準備し、それ以外の試合の副審は帯同審判とする。
- (2) 参加資格の違反、その他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を即座に停止する。なお、大会終了後に発覚した場合は事情聴取を行い、鹿児島県社会人サッカー連盟規律フェアプレー委員会により裁定する。
- (3) 代表者会議に欠席したチームは、出場の資格を失するものとする。
- (4) 主催者は、参加者の負傷・疾病等に対して、一切の責任を負わない。
- (5) 主催者は、器物破損及び第三者の負傷等について、一切の責任を負わない。
- (6) 本大会中の警告は、他大会（リーグ戦含む）への持ち越しはしない。
- (7) 会場及び施設の利用に関しては、マナーを厳守のこと。
- (8) 競技者は健康保険証を持参し、またスポーツ傷害保険に加入していること。
- (9) この要項に定めのない事項については、代表者会議で決定する。
- (10) 不明な点については、鹿児島県社会人サッカー連盟まで問い合わせること。

18. 付記

雷・台風等の自然災害時においては、可能な限り限られた範囲内で最大限大会を実施する。本大会の実施が困難と判断される場合は、大会本部において対応を決定する。